

⚡ サロン「生命／人間／宇宙」第1回 ⚡

人はなぜ宇宙に 行く(行かない)のか

～理性の進化と科学技術文明の行く末～

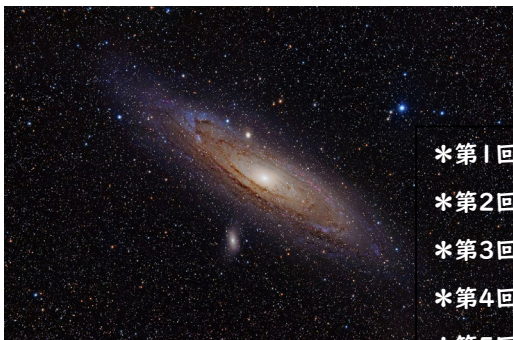
2018 年 11 月 30 日 (金) 18:30～20:30 (開場 18:00)

光塾 COMMON CONTACT 並木町

参加費：1000円 (学生500円) / 市民研会員は半額かつ同伴者割引あり / 事前予約が必要です (定員40名)

案内人 櫛島 (めでしま) 次郎 (生命倫理政策研究会共同代表、市民科学研究室特任研究員)
上田 昌文 (市民科学研究室代表理事)

- ▶ 第2回以降は「生命／生物／人間 研究会」のメンバーや外部から招いた講師もゲストとして参加します。
- ▶ 参考図書：櫛島次郎『もしも宇宙に行くのなら 人間の未来のための思考実験』岩波書店 2018



*第1回
*第2回
*第3回
*第4回

生命とは何だろうか。人間とは何だろうか。

科学研究と技術開発が、私たちの命と生活のあり方に深く介入するようになって久しい。そこでは何が問題で、何をすべきなのか、何をしてはいけないのか。それを考えるためには、生命とは何か、人間とは何か、という根本的な問いに向き合う必要がある。

そうした根本的な問いを考えるには、現実のめまぐるしい動きから、一步離れてみるのがいい。そこで、人類が宇宙に出て行く未来を想定して、そこから、いま地球上で私たちが直面している様々な問題を捉え直してみるのはいかがだろうか。生命倫理も環境倫理も、また違った見方で問いなおすことができるのではないだろうか。そこであらためて現実を見据え、逆に未来への想像力と希望を取り戻すことはできないだろうか。

このサロンでは、科学技術文明が生命と人間にもたらす様々な問題を、宇宙の視点から議論してみたい。

SF好きな人、宇宙好きな人はもちろん、そうでない、すこぶる現実的な人びとも、ぜひ、夕暮れにふと空を見上げて思いを馳せる気持ちで、一緒に議論してみませんか。

●光塾へのアクセス



JR 渋谷駅の新南口改札から徒歩 1 分。

渋谷駅からは外に出ず、

埼京線への乗り替え連絡通路で新南口に出ると便利。

渋谷区渋谷 3-27-15 光和ビル地下 1 階

tel. 03-6427-6462

市民科学研究室とは

市民科学研究室は (1) 科学技術にかかわる様々な意思決定や政策形成への市民参加、(2) 様々な社会問題の解決に向けた専門知の適正な活用、(3) "持続可能で生き生きとした生活"のための科学研究や教育の実践、に取り組んでいる NPO です。市民の問題認識力を高めるための講座や勉強会を運営し、市民が主体となった調査研究や政策提言や支援事業をすすめています。リビングサイエンス(=生活を基点にした科学技術)という概念を手がかりに、様々な角度から「生活者にとってよりよい科学技術とは」を考え、そのアイデアを実現していこうとしています。

市民科学研究室と関わっていただくための窓口

市民研は様々な活動を日々展開しています。市民研に関わっていただくための方法も様々です。以下のいずれについても詳しくはホームページでご案内していますが、お気軽にお問い合わせいただければ、と思います。

- ▶ 会員になる: 年間 3000 円「ダーウィン会員」と年間 1 万円の「レイチェル会員」
- ▶ 寄付をする: オンラインからも「一口 1000 円」で受け付けています
- ▶ イベントに参加する: 市民科学講座が毎月 2 回ほど Web 会議システムでの参加も可
- ▶ 研究会に参加する: 会員であることが必要 Web 会議システムでの参加も可
- ▶ 作業を手伝って支援する: アルバイト (有償) となる作業もあります
- ▶ 記事論文読んでコメントを送る: ホームページの各記事のコメント欄から
- ▶ 出版物や動画を購入・視聴する: ホームページの「動画配信」「出版物・販売物」より
- ▶ 講演や出前講座を依頼する: 電磁波計測、子ども料理科学教室などもあります
- ▶ 会議室を借りる: 15 人までが座れる広めのスペース 1 時間 1000 円です
- ▶ 連携団体となり一緒に事業をすすめる: これまで様々な助成で実現してきました
- ▶ 科学技術に関して気になることを相談する: 常時メールで受け付けています
- ▶ 新たな研究や活動のテーマを提案する: 皆さんのアイデアを求めています!

お申し込みは市民研ホームページ
www.shiminkagaku.org/
の専用サイトでも受け付けています

市民研 @ 光塾 COMMON CONTACT 並木町
NPO 法人 市民科学研究室

お申込み・お問い合わせ : 03-5834-8328 renraku@shiminkagaku.org